

# 広島県感染症発生動向月報

[ 広島県感染症予防研究調査会 ]  
( 平成26年11月解析分 )

## 1 今月のピックアップ

### (1) 世界エイズデー「レッドリボンキャンペーン in 広島」の開催について

エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見をなくすことを目的に、12月1日の「世界エイズデー」に併せてエイズに関する正しい知識の普及啓発を行うため、次のとおり「レッドリボンキャンペーン in 広島」を開催します。

**【日時】** 平成26年12月6日(土) 13時～18時

**【場所】** 広島市西新天地公園広場(通称:アリスガーデン 中区新天地)及びその周辺

**【内容】** ○エイズ啓発に関するパネル展示やパンフレット等啓発物品の配布  
○エイズ検査(無料・匿名・迅速検査)の実施(14時～17時30分)  
○ミュージシャン等によるステージパフォーマンスなど

なお、この会場以外でも県内では、世界エイズデーにあわせたイベントや無料・匿名検査が行われます。



「エイズ相談・HIV検査」に関しては、こちらのホームページを御覧ください。

○ <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/kensa.html>

「世界エイズデー」に関しては、こちらのホームページを御覧ください。

○ 「12月1日は世界エイズデー」(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eizu/>

「平成26年度世界エイズデー キャンペーンテーマ」

**AIDS IS NOT OVER ～まだ終わっていない～**

### (2) 手洗い・咳エチケットでインフルエンザを防ぎましょう！！

広島県感染症発生動向調査による定点医療機関からのインフルエンザ患者の報告数が急増しています(9月:24件→10月:57件)。また、10月21日には県内で初めてのインフルエンザ様疾患(いわゆる「集団かぜ」)による学級閉鎖・学年閉鎖の報告があり、インフルエンザの本格的なシーズンが近づいてきたことから、手洗いや咳エチケット等の感染予防対策の励行及び流行前の早めの予防接種をお勧めします。

「広島県内のインフルエンザの流行状況」については、「ひろしまCDC」のホームページを御覧ください。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-kansen-wadai-zyouhou-inf-zyouhou.html>

### (3) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症について

最近、抗菌薬であるカルバペネムに耐性を持った新しい腸内細菌科の海外からの輸入事例が報告されております。現在のところ、これらの耐性菌が国内で広がっている状況ではありませんが、輸入事例を端緒に国内で感染拡大が起らないよう継続的に発生状況を把握するため、平成26年9月19日より全数把握対象疾患の五類感染症に追加されました。

#### ◇カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症とは◇

抗菌薬の切り札であるメロペネムなどカルバペネム系薬剤及び広域β-ラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌科細菌による感染症です。カルバペネム耐性腸内細菌科細菌は、他の系統の薬剤にも多剤耐性を獲得していることが多く、感染症を起こすと治療が難しくなるといわれています。

詳しくは、こちらのホームページを御覧ください。

○「腸内細菌科のカルバペネム耐性菌について」(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dl/130322.pdf>

○「感染症法に基づくカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の届出に関するQ&A」(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/dr-b-m/5011-carbapenem-qa2.html>

## 2 疾患別定点情報

### (1) 定点把握(週報)五類感染症

平成26年10月分(平成26年10月6日～平成26年11月2日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	57	0.12	0.97	↑	11	ヘルパンギーナ	39	0.14	0.15	↓
2	RSウイルス感染症	562	1.95	0.87	→	12	流行性耳下腺炎	195	0.68	0.70	↗
3	咽頭結膜熱	86	0.30	0.38	↘	13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	462	1.60	0.76	↗	14	流行性角結膜炎	86	1.13	0.92	↗
5	感染性胃腸炎	1,001	3.48	3.34	→	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	172	0.60	0.77	↘	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.05	
7	手足口病	151	0.52	0.53	↘	17	マイコプラズマ肺炎	10	0.12	0.25	
8	伝染性紅斑	1	0.00	0.07		18	クラミジア肺炎	1	0.01	0.00	
9	突発性発しん	150	0.52	0.50	↗	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	—	
10	百日咳	6	0.02	0.09							

### (2) 定点把握(月報)五類感染症

平成26年10月分(10月1日～10月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	63	2.74	2.34	↗	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	90	4.29	5.52	→
21	性器ヘルペスウイルス感染症	16	0.70	0.70	↘	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	20	0.95	1.35	↑
22	尖圭コンジローマ	17	0.74	0.50	↗	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.26	
23	淋菌感染症	22	0.96	1.08	→						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

※ 薬剤耐性アシネトバクター感染症は平成26年9月19日より定点把握(月報対象)疾患から全数把握疾患の五類感染症に変更されました。

#### 急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 インフルエンザ(0.04 → 0.12)  
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症(0.14 → 0.95)
- 急減疾患 ヘルパンギーナ(0.56 → 0.14)

#### 発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

## 3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	52	結核(52)〔西部保健所(4),西部東保健所(3),東部保健所(5),北部保健所(4),広島市保健所(27),福山市保健所(5),呉市保健所(4)〕
三類	5	腸管出血性大腸菌感染症(5)〔西部東保健所(2),北部保健所(1),広島市保健所(2)〕
四類	10	つつが虫病(1)〔西部保健所〕,レジオネラ症(2)〔西部保健所(1),東部保健所(1)〕,日本紅斑熱(7)〔東部保健所(6),呉市保健所(1)〕
五類全数	10	アメーバ赤痢(2)〔広島市保健所〕,ウイルス性肝炎(B型)(2)〔広島市保健所〕,後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所〕,侵襲性肺炎球菌感染症(1)〔広島市保健所〕,カルバペネム耐性腸内細菌感染症(2)〔広島市保健所(1),呉市保健所(1)〕,梅毒(1)〔東部保健所〕,風しん(1)〔広島市保健所〕